

W-736 取扱説明書

W736-z-2404

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い
下さいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

- 印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
- 本製品によって生じた、いかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
- 本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

製品仕様（改良のため予告なく変更する場合があります。）

- 時 間 精 度：平均月差 ±30 秒以内（気温 25℃で使用した場合）
- 使 用 温 度 範 囲：0 ～ +40℃ ※結露なきこと
（ 外 観 / 機 能 に 支 障 無 く、 連 続 使 用 可 能 な 温 度 範 囲 ）
- 使 用 推 奨 電 池：単 3 形 マンガン乾電池（R6 1.5V） 1 個
- 電 池 寿 命：約 12 ヲ月（単 3 形 マンガン乾電池 1 個使用の場合）

時計の掛け方について

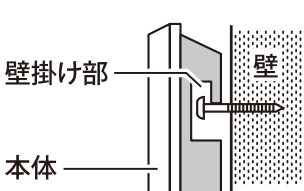


注意

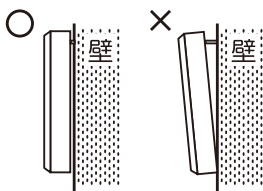
掛け方が不適切な場合、
落下する危険があります。

- 掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、
確実に掛かっていることを確認して下さい。
- 時計は垂直・水平に掛けて下さい。時計に傾きがあると時計の精度や機能が
正常に働きません。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けて下さい。
- 落下の原因になりますので、壁掛け部以外には掛けないで下さい。
- 壁の裏側に電気配線等がある場所に取り付けると掛け具で電気配線等を
傷つけ、火災・感電につながる恐れがあります。事前に電気配線等の位置を
確認し、取り付けて下さい。
- 壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選ん
で下さい。

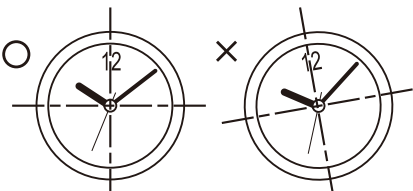
※材質・構造がご不明の場合は、建築メーカー等へ相談して下さい。



<正しい掛け方>



<横から見た場合>

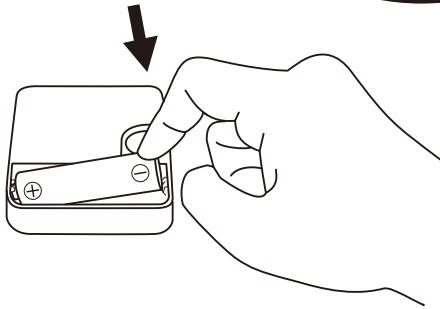
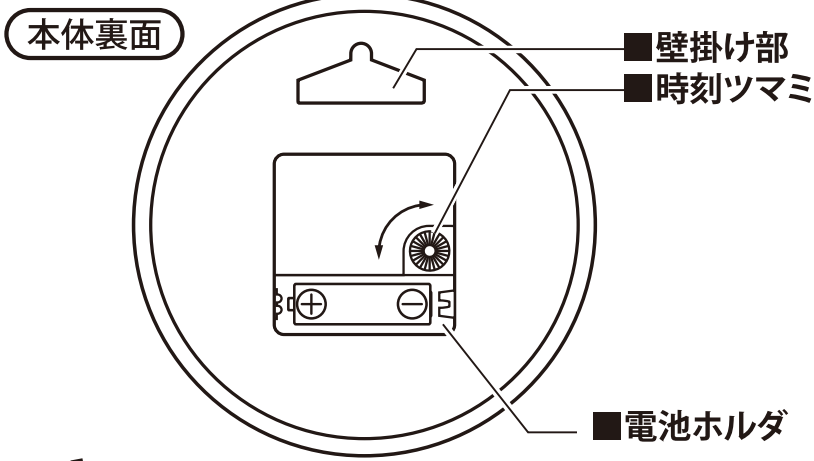


<正面から見た場合>

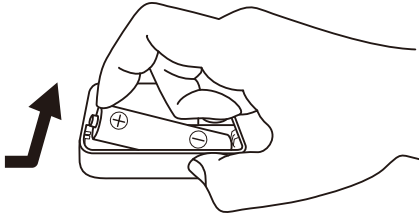


時計の使い方

- ①単 3 形乾電池 1 個を**電池ホルダ**の⊕ ⊖の表示に合わせて入れて下さい。
※電池を入れる際は、必ず**電池ホルダ**に表示されている⊕ ⊖の向きをご確認
下さい。
- ②**時刻ツマミ**を回して現在時刻に合わせて下さい。



※電池を入れるときは
⊕側から入れて下さい。



※電池を外すときは
⊕側から外して下さい。

電池の交換について

- 電池容量が少なくなると、秒針の進みが目に見えて遅くなります。このよう
な場合は、速やかに新しい電池に交換して下さい。
- ※買い置きの電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や
保管状態により、電池寿命が短くなることがあります。

故障かな?と思ったときには…

※製品が正常に作動していないときは修理を依頼する前に下記を参考にお
確かめ下さい。

時計が動かない

考えられる原因	処 置
電池容量が無い	電池の ⊕ ⊖の向きを確かめて、新しい電池を 入れて下さい。
電池が入っていない	
電池が正しい向きで 入っていない	
電池端子の接触不良	端子の表面をふいて電池を入れ直して下さい。

時計が止まる、または遅れる

考えられる原因	処 置
電池容量が少ない	新しい電池に交換して下さい。

アナログ時計には長針と短針があり、
長い針が「分」、短い針が「時」を表すという事を教えましょう。

知育時計よ〜めるシリーズ特集ページ

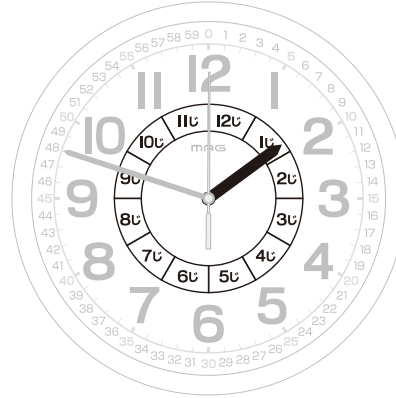


幼児期から小学校低学年のお子様に伝わりやすい「時計の読み方・教え方」の解説動画や、よ〜めるシリーズのご紹介などのコンテンツをまとめております。
携帯電話・スマートフォンから QR コードをスキャンして（または下記 URL より）アクセスして頂けます。

<https://www.mag-clock.co.jp/tellingtime.html>

Step1. まずは短針から教える

短針（紺色の針）が指している数字を読むと「時」が読めるようになります。「分」の概念は後回しにして、まずは「時」を読めるようになりましょう。右図の中心の円に注目して、短い針がどの数字を指しているかを読んでみましょう。「時計の短い針が1のところにあたれば1時だよ」と12時までそれぞれ教えてみましょう。1時から12時までを読めるようになったら次のステップです。

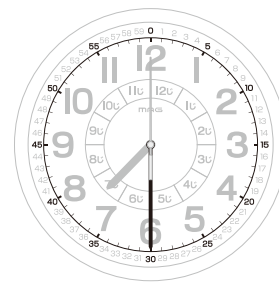


声かけのポイント

●「3時からおやつにしよう!」「6時からテレビが始まるよ!」など、生活の中でお子様の好きな出来事から時計を見る習慣をつけてみましょう。

Step2. つぎは長針を教える

長針（赤色の針）が指している数字を読むと「分」が読めるようになります。外側にある小さい数字に注目して、長い針がどの数字を指しているかを読んでみましょう。最初は赤の数字の0と30を指す位置で「0時ちょうど」と「0時30分」を教えましょう。次に5、10、15…と5分きざみに赤の数字を読めるようにします。慣れてくると1から12の大きな数字に惑わされることなく、目盛りを数えて「分」を読むことが分かるようになります。



いまは何分かな？

6ぶん！

長い針は周りの小さい数字を読むんだよ。

あっ！そっか！
いち、に、…30ぶんだ！

声かけのポイント

●「10時半になったらおでかけよ!」「7時30分になったらお風呂にはいろう!」など、最初は「0時30分」のときに声をかけて時計を見せてあげてください。このとき「0時半」という言い方も同時に教えてしまいましょう。どちらも同じ意味だと知る事で、30は半分であるという意識が付き、60進法の理解への助けになります。短針が数字と数字の間にある事も気づかせてあげましょう。

●お子様と一緒にひとつずつ丁寧に目盛りを数えてあげましょう。

Step3. 短針・長針の順番で読む

①短針②長針の順に読むという事を教えてみましょう。短針＝「時」長針＝「分」という事を徹底して覚えてしましましょう。「何時何分？」と問いかけ「0時0分」と繰り返し答えるうちに慣れて読めるようになります。

いまは何時何分？

9じ30ぶん！

こんどはちょっと難しいよ
いまは何時何分？

9じ49ぶん！

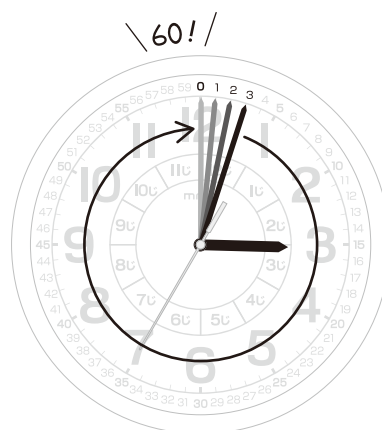
すごいよ！よくわかったね。

声かけのポイント

●ふとしたときに何時何分か質問してみましょう。今の時刻を答えられるようになったら「じゃあ、おやつまで後何分?」などの質問もしてみましょう。はじめは目盛りをひとつずつ数えて答えられるだけでじゅうぶんです。この感覚を身につけておくことで「時間の計算」の学習への理解も早くなります。

とけいが読めるようになったら…

秒針が1周したら1分で、長針が1つ進みます。
長針が1周したら1時間で、短針が1つ進みます。3つの針の関係を丁寧に教えてあげましょう。60秒が1分、60分が1時間、という部分は難しいですが、3本の針の動きを見ているうちに段々と理解できるようになります。



0から順番に60まで数えてみよう！
長い針が1周すると4時になるよ！

声かけのポイント

●お子様は3つの針の回る速度が違う事に混乱しやすいです。「秒針が1周したら長い針はひとつ進むよ。一緒に60数えてみようね。」と0の位置に秒針がきたときに数えてみましょう。次に長針についても60進んだら短針がひとつ進むことを教えてあげましょう。3つの針の関係を理解するには、一度電池をはずし、針回しツマミを手動で早回しして、長針が1周するときに短針が動く様子を見せてあげる方法もあります。
※電池の出し入れや、針を動かすことは、思わぬ事故を防ぐために、必ず大人の方がおこなって下さい。

大切なこと

お子様が間違えてしまっても叱ったりせず、ポジティブな言い方でやさしく教えましょう。

読めたときには、たくさんほめて、お子様と楽しみながらすすめて下さい。

「時計が読めると楽しい」とお子様が感じられることが一番です。

ぜひ時計を身近なものにしてあげて下さい。知育時計よ〜めると一緒に楽しく学習しましょう！